

事業名称	安曇野市の歴史文化遺産の再発見事業																																
実行委員会	安曇野市の歴史文化遺産再発見事業実行委員会																																
中核館	安曇野市豊科郷土博物館																																
	住所	〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4289 番地 8																															
	TEL	0263-72-5672	TEL 0263-72-5672																														
	ホームページ	http://azuminohaku.jp/ https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/43/1459/html https://www.city.azumino.nagano.jp/site/virtual-museum/																															
構成団体	安曇野市文書館、安曇野市豊科公民館																																
事業開始時点の課題分析	<p>豊科地域、安曇野市内で最も市街化が進んだ地域であるが、それ故に地域の歴史が顧みられる機会は少ない。御柱立てや福俵引き、堂の祭りなどの地区の伝統行事には、他地域に比べれば青年たちの参加は多い。近代には青年教育の拠点も設けられ、南安曇郡下では最も教育が盛んであった地域と評価できる。だが、それらの由来や来歴を知る市民は減ってきており、地域の伝統文化や人々の歴史が忘れられてしまうことが危惧される。また豊科北中学校では令和2年度から総合的な学習の時間に「地域を学ぶ」をテーマに地元の歴史や自然を学ぶ単元を設けており、豊科郷土博物館や安曇野市文書館の学芸員や職員が出向いてその指導に協力している。南安曇郡の交通の要衝また教育の中心でもあった豊科地域の歴史文化遺産について、多くの市民に注目を向けようため、この地域を扱った書籍を発行したい。</p>																																
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 冊子の刊行や講座の開催等により、安曇野市豊科地域の歴史文化遺産の魅力を市民にわかりやすい形で発信し、地域の歴史文化遺産への関心を高めてもらうとともに、地域おこしの材料を提供する。 地元の小学校又は中学校の総合的な学習の時間等において、刊行した冊子を活用してもらう。 																																
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 中核館となる安曇野市豊科郷土博物館や安曇野市教育委員会の職員の共同執筆により、豊科地域の歴史文化遺産を紹介する一般向けの冊子を刊行する。 執筆にあたっては、豊科地域の歴史、考古、民俗及び自然等を調査する。 執筆に伴う調査成果をもとに、豊科公民館等と共働して、豊科の地域住民を対象とした講座を実施する。 刊行した冊子『豊科の宝』は地元の小中学校に配布し、授業等で活用してもらうとともに、本書をもとにした豊科郷土博物館や安曇野市教育委員会の職員による出前講座も実施する。 刊行した冊子の内容は博物館バーチャルミュージアム（WEB サイト）上に公開し、市域内外に地域の歴史と魅力を発信する。 																																
実施項目 ・ 実施体系	<p>1. 穂高の歴史文化遺産再発見事業</p> <table border="0"> <tr> <td>(1)</td> <td>実行委員会の開催</td> <td>(実行委員会)</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>冊子『豊科の宝』作成</td> <td>(冊子編集)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>現地調査・資料調査</td> <td>(調査)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>冊子の執筆・編集</td> <td>(執筆編集)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>冊子印刷業務</td> <td>(冊子印刷)</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>市民への発信</td> <td>(市民への発信)</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>冊子の刊行</td> <td>(冊子刊行)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>豊科公民館講座</td> <td>(講座開催)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>豊科郷土博物館講座</td> <td>(講座開催)</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>小学生自然観察会、中学生総合学習における調査活動</td> <td>(学校との連携)</td> </tr> </table>			(1)	実行委員会の開催	(実行委員会)	(2)	冊子『豊科の宝』作成	(冊子編集)	①	現地調査・資料調査	(調査)	②	冊子の執筆・編集	(執筆編集)	③	冊子印刷業務	(冊子印刷)	(3)	市民への発信	(市民への発信)	①	冊子の刊行	(冊子刊行)	②	豊科公民館講座	(講座開催)	③	豊科郷土博物館講座	(講座開催)	④	小学生自然観察会、中学生総合学習における調査活動	(学校との連携)
(1)	実行委員会の開催	(実行委員会)																															
(2)	冊子『豊科の宝』作成	(冊子編集)																															
①	現地調査・資料調査	(調査)																															
②	冊子の執筆・編集	(執筆編集)																															
③	冊子印刷業務	(冊子印刷)																															
(3)	市民への発信	(市民への発信)																															
①	冊子の刊行	(冊子刊行)																															
②	豊科公民館講座	(講座開催)																															
③	豊科郷土博物館講座	(講座開催)																															
④	小学生自然観察会、中学生総合学習における調査活動	(学校との連携)																															
実施後の成果・効果等	<ul style="list-style-type: none"> 冊子『豊科の宝』3,000部を刊行した。豊科郷土博物館や豊科地域の文化施設等の利用者、豊科公民館講座の補助資料として参加者に配布する。 本書はデジタルデータとしても納品されているため、安曇野市ホームページ等で閲覧できるようにする。 学校との連携を特に強化することができた。小学校においては、豊科地域の里山環境を体験し自然に触れるための自然観察会を延べ11回開催した。また中学校については、総合学習の時間を利用した生徒の自主的な調査体験活動や、地元の防災や戦争等の事柄にピンポイントで焦点を当てた学習活動を支援した。さらにこれらの成果については、『豊科の宝』の中にも記事として掲載することができた。 豊科公民館講座において、豊科地域の自然や歴史等を紹介し、この地域の特色を学び理解するための生涯学習の場を提供することができた。 																																

【事業実績】

※作成要領に従い事業実績は2頁で作成ください。

1 冊子『豊科の宝』の刊行 全186頁 3,000部印刷

(1) 冊子の印刷

(2) 『豊科の宝』執筆者らによる現地調査の実施(主なもの)

(ア) 調査者 逸見大悟、幅拓哉、倉石あつ子、宮本尚子、那須野雅好(いずれも安曇野市教育委員会教育部文化課、『豊科の宝』執筆者)

調査箇所 光城山～コオロギ集落跡 踏査(R3.9.14)

(イ) 調査者 逸見大悟

調査箇所 豊科・正敬寺(R3.12.7)、真々部諏訪神社(R3.11.19)

(ウ) 調査者 逸見大悟、幅拓哉、倉石あつ子、宮本尚子、松田貴子(いずれも安曇野市教育委員会教育部文化課、『豊科の宝』執筆者)

調査箇所 豊科真々部地区巡検(R3.5.24)、豊科中曽根地区巡検(R3.9.13)



刊行した『豊科の宝』冊子

2 展覧会・講座の開催

(1) 安曇野市文書館企画展「穂高の宝」展(会期 R4年1月11日(火)～3月31日(木))

- ・昨年度発行した同シリーズの『穂高の宝』をテーマとした企画展を実施。
- ・穂高ゆかりの人物や考古資料、戦争遺構、自然、等について解説展示。

(2) 安曇野市教育委員会主催講座「安曇野アカデミー」

(ア) 「安曇野のフェアブル・千国安之輔」(R3年10月7日、参加者25人)

講師 平沢 重人(実行委員、『豊科の宝』執筆者)

- ・『宝』でも取り上げた昆虫学者千国安之輔に関する紹介

(イ) 「堰からみた安曇野の歴史—小穴喜一」(R3年10月28・30日、参加者計30人)

講師 逸見 大悟

- ・豊科地域の中曽根川から分岐した堰と地域の歴史に関する講座、現地見学



安曇野アカデミー講座の様子

3 豊科公民館講座

(1) 豊科公民館「出会い・ふれあい・生きがいセミナー」

(ア)「虫たちからのメッセージ～安曇野の自然～」(令和3年7月13日(火)、参加者32人)

講師 那須野 雅好

・豊科地域を含めた安曇野市の自然の特色等を、昆虫に注目して解説した。

(イ)「私を浄土に連れてって」

(令和3年8月6日(金)、参加者14人)

講師 原 明芳(実行委員長、『豊科の宝』執筆者)

・「人の死」をテーマにした習俗や歴史の解説。

(ウ)「観音様にすがる」

(令和3年9月3日(金)、参加者13人)

講師 原 明芳

・市内の寺社や仏像に関する解説。



公民館講座の様子

4 学校との連携

(1) 豊科北学校「総合学習」

講師 原 明芳、松田 貴子、倉石 あつ子、窪田 尚幸、斉藤 雄太(いずれも『豊科の宝』執筆者)

・豊科地域の概要や産業、歴史、自然、等について、講師から話を聞いたりフィールドワークを行う中で、生徒たちが地元について知り、また自分たちで追及していく学習を展開した。

(2) 豊科地域各小学校「自然観察会」(延べ数:開催…10回、参加者…359人)

講師 那須野 雅好、松田 貴子、幅 拓哉、斉藤 雄太

・豊科地域が属する東山一帯を中心に、自然観察会を実施し、子どもたちが昆虫や植物を中心とした身近な自然に触れ、実感する機会を創出した。また市内の西山山麓や街中でも観察会を行い、東山と比較した自然の違いを学んだ。



中学生の総合学習における地域の調査(左)と、小学生の自然観察会(右)